

# 愛しのレコジャケ展

去る2月20日(水)～24日(日)の5日間、パレットとっとり市民交流ホールでレコードのジャケットを楽しむ展示イベントを開催しました。市内のミュージックショップ borzoi record 協力の元、LP・EPのレコードジャケットがずらりと並んだ様子は壮観!

まずは『ジャンル別名盤』コーナーで、'60年代ロックをはじめ'70年代、'80年代、ジャズ、ソウル、日本のロック&フォークなどの他、YMOやはっぴいえんど、ユーミンなどその時代を彩った名盤が並び、『いろんなテーマ』コーナーは、ジャケットに使用された写真やイラストをヒントに、独自にテーマ分けした遊び心あふれるコーナーになりました。

EP盤ばかりを集めた『懐かしのドーナツ盤』コーナーには、昭和の時代感が感じられるジャケットがパネルいっぱい並び、年配の方々にも人気のコーナーでした。

また、地元でお店を営む方や音楽に関わる方々に、ご自分のコレクションの中から思い入れのある3枚を選んでもらった『MY BEST 3』のコーナーは、そのセレクトやジャケットに対するコメントに個性が溢れ、それぞれのレコード愛が窺えました。

土日には、borzoi record によるレコード・CD販売や、TOTTORI COFFEE ROASTER (コーヒー・焼き菓子販売)、necco70 (コーヒー・ドリンク・フード販売)の出店もあり、コーヒーを飲みながらゆったりと展示を楽しむ姿も見られました。

来場者は、レコード世代の方からCD世代、さらには“音楽は配信ダウンロードで”という世代まで幅広く、親子連れで楽しんでくださる方もありました。

以下、アンケートに寄せられた感想をいくつか抜粋でご紹介します。「CDよりも面積が大きくて、デザインの幅が広がって面白いと思いました。聴くのもがざるの楽しいですね!レコードプレーヤーが欲しくなってきました。(20代女性)」「父の世代のものが多かったので、彼の昔話によく出てくる曲のジャケットはこんなものだったかと発見する事ができました。古き良き時代に触れる良い機会となりました。(20代男性)」「『名盤』と言われているものはジャケットのデザイナーの力が入り方も違ってくるのですばらしいものになるのではないかと感じました。CDでもっているものがいくつか展示されていましたが、アナログ盤のサイズで見ると美しいですね。(30代女性)」「展示数がたくさんあって見ごたえがありました。レコード自体にはあまり知らない世代ですが、ジャケットのイラストやデザインとても新鮮でもしよかったです。(40代女性)」「ジャケ買い世代なので、とてもなつかしく拝見しました。音楽がデジタル配信される時代、レ



コードのジャケットは夢がありますね! (50代男性)  
 「なつかしい当時の思い出がよみがえります。青春時代は良かったなあと思えます。(60代男性)」「今回のようなイベントは初めてでしたので、とてもなつかしく見学させていただきました。私達の世代、昭和20年代のジャケットを見ながら何枚か買って聞いた曲もありとてもなつかしく思いました。(70代)」

世代を超えてレコードジャケットの魅力を楽しんでいただくことが出来、楽しいイベントとなりました。

ご来場・ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。